



池松自然農園通信 NO.15 2015年8月

暑いですねー。梅雨が明けてから猛暑日が続く一方、雨が全然降らるので、野菜はじーっと我慢しております。スーパーモデルが一日2リットル水を飲むなんて聞いたことがあります、私は午前中だけで2リットルぐらい飲まないかんぐらい汗が噴き出てきます。

《夏野菜》

九州の今年の梅雨は、降水量が多く、作物への影響が大きかったのですが、福岡は曇ばかりだったのですが雨はそれほど多くなく、夏野菜の出だしは順調でした。相模半白キュウリも例年すぐに病気になったりで枯れ上がるのですが、今年は収穫期間がとても長く、好調でした。トマトたちも品種毎のバラつきもありましたが、売り物にならない虫食いや割れものが少なく、特にアロイトマトが顕著でした。気候の影響が大きいとは思いますが、これが自家採種を続けたおかげであってくれたらいいなーと思っています。

《秋野菜》

そうこうしているうちに、あっという間に秋冬野菜の準備です。まずは、秋冬と呼べるのかわかりませんが、大豆！毎年、失敗を繰り返しています。蒔くのが遅すぎたり、発芽直後にカラスに食べられてしまったり・・・。しかし、私も少しは成長しています。今年はちゃんと苗を仕立てて植えました。今のところ順調です。マメ科は栽培が簡単という頭があったので、大豆からそんなに甘くないよと教えられていたんだと思います。今年、心持違うのにはもう一つ理由があります。それは、今年蒔いた大豆は、「種市」仲間の千葉県宮本さんからもらった「小糸在来」だからです。しっかり大豆として収穫できるようこれからも草取りや土寄せをしたいと思います。また、次は黒田五寸人参です。お盆直後に第一弾を蒔く予定でしたが天気を読めず、1週間遅れでとりあえず、一畝だけ蒔きました。あとは、台風15号が通過した後、しばらく晴れてくれるのを祈って、畑が乾いたら、本格的に蒔きたいと思います。そうなってくると、キャベツ・白菜・レタス等の定植、カブ、大根など冬野菜の播種が続いてあっという間に冬を迎えることと思います。毎年毎年、あっという間に月日が流れて行きます。

《雲仙に行ってきました》

師匠、岩崎さんの畑で種採り勉強会が開催されたので、7月24、25日で雲仙に行ってきました。夏の岩崎さんの夏の畑は初めてだったので、とても楽しみにしていました。長崎は梅雨の雨がすごく、あの水はけの良い岩崎さんの畑でも、カボチャが駄目になったり、ジャガイモも収量が落ちたりして、今までになく悪い出来だったようです。そんな状態でも、モロヘイヤ、エゴマ、地きゅうり、冬瓜、鶴首カボチャなど元気に育っていました。何より、その規模がうちの5倍ぐらいあるので圧倒されます。しかも、うちみたいに草ボーボーにはしていないので、どれだけ作業効率がいいのかいつも驚きを隠せません。そして、一つ一つの品種の特徴を細かく説明してくれるのですが、それだけ説明できるのは観察眼、知識、経験、センスが卓越している証拠です。いつか、岩崎さんと深い話ができるように百姓としての技量を高めたいと改めて思いました。それまで、皆さん応援よろしくをお願いします。

《消防団（続報）》

我が周船寺分団が福岡市の西区大会で優勝してしまって、福岡市大会に向けて練習継続していました。そして、8/23ついに市大会が開催され、4位入賞で終わりました。私は選手ではないので、お手伝いばかりですが、5月からの4か月弱、睡眠時間が削られるのでやはりきつかったです。2年後に選手で出ると言われていますが、農家はこの時期一番忙しいし、日中の暑さで体力は消耗しとるし、子供も寂しそうやし、なかなか厳しいなーと考えているところです。

池松自然農園種取り情報（冬と夏野菜版）

採種済み：

ブロッコリー、シコ、岸金町小カブ、小田部大根、五木赤大根、源助大根、黒田五寸人参、大浦太ゴボウ
トマト5種（アロイ、ブラック&ホワイトチェリー、チャドウィック、イエローペア、なつのこま（初！））、
相模半白キュウリ、ズッキーニブラックビューティ、打木赤皮甘栗カボチャ、セロリ、エルワン（レタス）